

# Mリンシステム製品一覧 取扱説明書 & 作物別施肥基準



食べる健康  美味しいは安全<sup>®</sup>

## Mリンシステムとは

**A** =葉作り、茎作り(窒素肥料) **B** =根作り、花実作り(リン酸肥料)

を使い分け、天候に左右されずに、高品質と多収穫を実現する栽培技術です。

独自の土壤環境の改善と施肥方法を駆使し、安全で永続的な農業を実現します。



が付いている資材は100%有機原料で出来ています

# 過リン酸石灰発酵資材

## Mリンカリン エム



NET 2kg

微生物発酵菌資材

1ケース(2kg×10袋)

※商標登録:第1594900号

### 肥効力向上

#### ●Mリンカリンとは

過リン酸石灰と塩化加里と米ヌカを混合し、常温発酵させて発酵リン酸肥料を作る微生物資材です。Mリンカリンで処理すると、リン酸の吸収量を増加させ、効率良く、速効的にリン酸を吸収させることができます。資材効率を大幅に高めます。

#### ●Mリンカリンで発酵したリン酸肥料【MリンPK】の効果

- ①発根促進 ②光合成促進 ③窒素過多の改善 ④着花結実の促進
- ⑤着色、糖度の向上 ⑥耐病性の強化 ⑦秀品率の向上 ⑧日持ち向上

### Mリンカリンの使用方法（自家製MリンPKの作り方）

原材料名	標準型の配合割合
Mリンカリン	2kg(1袋)
過リン酸石灰(粒または粉)	100kg(5袋)
塩化加里(粒または粉)	10kg(半袋)～20kg(1袋)
硫酸マグネシウム	0kg～30kg(1.5袋)
米ヌカ	5kg

#### 熟成期間について

原材料を配合したのち、積算温度200～300℃(20～30日)以上で常温発酵させます。発酵期間が長いほど、リン酸の肥効が高まります。



MリンPK(1セット当たり)  
<出来上がり量117～157kg>



袋にもどし熟成・保存  
(積算温度200～300℃)

注：密封状態にしないこと！

### 配合のポイント

●加里要求の高い作物は、塩化加里を20～30kgに增量して下さい。施設等で加里過剰の圃場では、塩化加里を5kgに減量して下さい。

●更なる食味や着色の向上、及び果菜類や果樹への施用をする場合は、硫酸マグネシウムを10～30kg混合して下さい。

●MリンPKは、長期間の熟成がより一層効果的です。1年以上の熟成で、さらに効果が高まります。

●混合時に、水分の補給は必要ありません。

●熟成期間中は、切り返しの必要はありません。

※Mリンカリンを開封後は早めに使い切って下さい。

※MリンPKを熟成、保存する場合は袋や容器等に入れたままで良いですが、密封するのは避けて下さい。保管する場合は、雨の浸入や直射日光を避けて下さい。

# 発酵リン酸肥料

## MリンPK



NET 20kg

発酵リン酸肥料

(粒)

※肥料登録:生第75891号



発根促進

花芽分化促進

食味向上

**効果**

リン酸を効率良く根から植物体内に吸収させます

**施肥方法**

- ①全層施肥
- ②畝間施肥
- ③水に溶かしてカソ水施肥
- ④流水施肥(水田)

**保証成分量(%)**

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里
15.0	14.9	12.5	4.0	4.0

## スーパーMリンPK



NET 12.5kg

発酵リン酸肥料

高濃度タイプ(粒)

※指定配合肥料



発根促進

花芽分化促進

食味向上

**効果**

発酵リン酸肥料MリンPKの濃縮タイプです。本品1袋(12.5kg)はMリンPK(20kg)とほぼ同等の肥効です。

**施肥方法**

MリンPKと同様です。(左記参照)

**保証成分量(%)**

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里
24.0	24.0	20.0	9.0	9.0

## MリンPK マグ



NET 15kg

苦土入り発酵リン酸肥料  
高濃度タイプ(粒)

※肥料登録:生第105131号



発根促進

花芽分化促進

食味向上

**効果**

スーパーMリンPKに苦土を加えた発酵リン酸肥料です。  
本品1袋(15kg)はMリンPK(20kg)とほぼ同等の肥効です。

**施肥方法**

MリンPKと同様です。(上記参照)

**保証成分量(%)**

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里	水溶性 苦土
20.0	19.9	17.0	8.0	8.0	8.0

## MリンPK マグ・ライト



NET 15kg

苦土入り発酵リン酸肥料  
高濃度タイプ(粒)

※指定混合肥料



発根促進

花芽分化促進

食味向上

**効果**

MリンPKにマグネシウムをプラスした発酵リン酸肥料です。  
※成分間の比率は従来のMリンPKマグと同様です。

**施肥方法**

MリンPKと同様です。

**設計成分値(%)**

リン酸 全量	内可溶性 リン酸	内水溶性 リン酸	加里 全量	内水溶性 加里	水溶性 苦土
15.0	14.9	12.5	6.0	6.0	6.0

## 液肥用リン酸肥料

### MリンPK 液肥の素



NET 2kg

発酵リン酸肥料  
(粉)

※肥料登録:生第73872号



徒長防止

花芽分化促進

食味向上

**効果**

果菜類等の糖度・着色を向上させ、窒素過多や日照不足時の生育促進に優れた効果を発揮します。

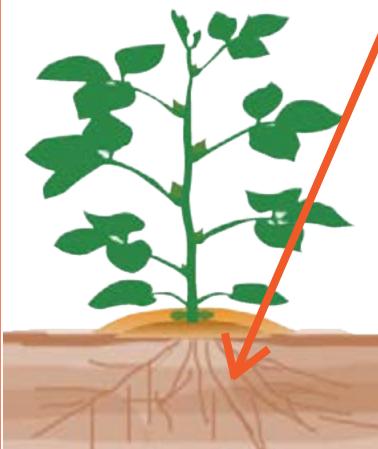
**施肥方法**

本品を水に溶かして、カソ水チューブ等でカソ水するか、カソ注入して下さい。

**保証成分量(%)**

アンモニア性 窒素	水溶性 リン酸	水溶性 加里	水溶性 苦土
4.0	30.0	6.0	5.0

## MリンPK類の5大効果

**①発根促進****②徒長防止****③耐病性強化****④糖度上昇・着色向上****⑤日持ち向上・秀品率UP**

# 土作りの基本資材

## バクヤーゼ



NET 1kg

### 有機物発酵菌資材

1ケース(1kg×20袋)

※商標登録:第3013692号



有機物発酵

土作り

### ● バクヤーゼとは

有機質材料を発酵処理する好気性菌主体の微生物資材です。高温で発酵することにより、有機物中の有害物質を分解し、短期間で良質な堆肥やボカシ肥を作ることができます。

### ● バクヤーゼの使用目的

バクヤーゼで作った堆肥やボカシ肥を施肥することで、未熟有機物の有害な作用を防止し、土壌の有効菌が増殖して土壌病害や障害を軽減できます。また、バクヤーゼで作った堆肥の投入により土壌環境の改善や丈夫な根作りなど、健全生育を実現するための手助けとなります。

### ● バクヤーゼによる土中堆肥化の方法

圃場に残存する有機物	バクヤーゼ	米ヌカ	鶏糞(有機N源)	土中堆肥化の方法(10a当たり)
稻ワラや稻株	1kg(1袋)	30kg	60~100kg	バクヤーゼ+米ヌカ+鶏糞(またはバクヤーゼK)を収穫を終えてから早いうちに全面散布し、作付けまでに数回耕起します。
麦ワラや麦株			100~150kg	
緑肥や作物残さ			60~100kg	



### 良質堆肥の作り方 (堆肥原料1t当たり)

原料別炭素率  
と必要窒素量▶

- ①バクヤーゼ半袋(0.5kg)、米ヌカ20~30kgと、堆肥原料に合わせた有機態窒素(発酵鶏糞等)を準備します。  
(有機態窒素の量は右表参照)
- ②バクヤーゼと米ヌカを混合します。
- ③②で混合した材料と有機態窒素、堆肥原料をサンドイッチ状に堆積しながら、水分を50~60%に調整します。
- ④高さ1.5~2.5mに積み上げた後、すき間が多い場合は上から鎮圧します。
- ⑤酸素供給(切り返し)を行います。  
夏期:10~20日おき 冬期:20~30日おき
- ⑥熟成期間 : ワラ、モミガラ:1~2ヶ月  
バーク、オガ粉:4~6ヶ月

原料	炭素率	(原料1t当たり) 必要窒素量	乾燥鶏糞量
ワラ	60	約3kg	約100kg
モミガラ	150	約6kg	約200kg
バーク	400	約16kg	約500kg
オガ粉	600	約24kg	約800kg

### 堆積例



# 土作り資材

## バクヤーゼ堆肥



NET  
20kg

バクヤーゼ発酵  
高品質完熟堆肥  
※特殊肥料



団粒化促進

地力維持向上

土壤病害軽減

### 効果

広葉樹種100%の炭素率の高い原料を使用し、バクヤーゼで完熟まで発酵処理した良質堆肥です。土壤腐植が増大し、土壤環境の改善、有効微生物群の増殖にとても効果的です。

### 基本使用量 (10a当たり)

100~150袋(2~3t)

## バクヤーゼK



NET  
15kg

有機物の土中堆肥化資材  
(粒・ペレット)

※特殊肥料



収穫残さ分解

ボカシ肥

土壤病害軽減



### 成分分析値(%)

成分分析値は、各工場により異なりますので  
袋に表記されている分析値をご確認下さい。

窒素	リン酸	カリ	苦土	石灰
3.0~4.0	4.0~5.0	2.5~4.0	1.2~1.5	4.5~20.0

### 基本使用量(10a当たり)

#### 畑作

残さ処理	10~20袋(150~300kg)
ボカシ肥として使用	10~30袋(150~450kg)

#### 稻作

高地力(粘土地)の水田	3~5袋(45~75kg)
低地力(砂地)の水田	5~7袋(75~105kg)

### 効果

様々な有効菌の働きで、畑作の残さや稻わら、稻株を強力分解し、腐植化することでガス害を軽減します。また、アミノ酸やミネラルが豊富に含まれており、畑作、稻作での食味向上を目的としたボカシ肥としても使用できます。

# 土壤病害対策資材

## Mイーシー



NET 10kg

除塩・連作障害対策資材

1ケース(10kg×2袋)

※肥料成分は含まれておりません

### 効果

有効微生物群を活用した資材です。有効菌を増殖させて、土壤が原因で起こる障害を軽減させます。

### 使用量(10a当たり)

#### 通常時

作付け10~15日前までに本品1袋(10kg)と米又カ60kgを混合して全面散布後、耕起します。

#### 連作障害、高EC等発生時

作付け10~15日前までに本品2袋(20kg)と米又カ60~120kgを混合して全面散布後、耕起します。

連作障害時にはミズホ式土壤まるごと発酵法が効果的です。



土作り

除塩

土壤病害予防

### 特徴

#### ●土壤病害対策

放線菌、乳酸菌、細菌、酵母菌などの有効菌群の働きにより病原菌の繁殖を抑制します。

#### ●高塩基障害対策

有効菌が、土壤養分(酸基や塩基)を吸収し、塩類濃度を減少させます。

#### ●いや地現象対策

前作物の根から排出された老廃物を分解または吸収し、作物の栄養分に再合成します。

#### ●pH矯正

微生物による緩衝能力により、pHを矯正しながら正常化します。

太陽熱とバクヤーゼ菌で高温消毒!!  
Mイーシーが悪玉菌の動きを抑えます!!

消毒薬を使わずに連作障害を軽減する技術

# ミズホ式土壤まるごと発酵法

使用資材	10a当たり使用量
Mイーシー	1~2袋(10~20kg)
バクヤーゼK	20~30袋(300~450kg)
炭資材(くん炭等)	150~240kg
米又カ	100~200kg
完熟堆肥	3~5t
カン水時に混ぜて使用(10a当たり)	
バイオ根助	1本(20ℓ)
キトシンキ	1本(3ℓ)

### 作業工程

- 左表の使用資材すべてを全面散布して、土にすき込みます。
  - 土壤中の水分が、60~70%(握ると軽く固まる程度)になるまで、十分に時間をかけてカン水します。(通常は一晩くらい)
  - 十分にカン水した後、古ビニールなどをかぶせ約20~40日間かけて蒸し込みます。この時カン水に使用したチューブは、そのままにしておきます。水分が不足しないように時々確認し、不足した時はカン水して水分を調整します。
- ★カン水にはバイオ根助およびキトシンキを1000倍液に薄めた水を使用すると、更に効果が高くなります。
- ※バクヤーゼK20袋はバクヤーゼ2~3袋+乾燥鶏糞300~450kgで代用できます。

# ボカリシ肥

## MB動物有機ペレット

動物質有機の  
ボカリシ肥(ペレット)  
※指定配合肥料



NET 15kg



生育促進 食味向上

### 効果

動物質有機原料100%を使用しており粗タンパクが豊富であるため、肥効が長続きします。アミノ酸、核酸、ミネラルが豊富で、作物のうま味を引き出しますので、果菜類や果樹類の栽培にお勧めです。

### 基本使用量(10a当たり)

元肥: 10~40袋(150~600kg)

保証成分量(%/現物当たり) | 成分分析値

窒素全量	リン酸全量	加里全量	C/N比
3.0	5.0	4.0	9.0

## 新ぼかし大将

好気性発酵  
ボカリシ肥(粒)  
※特殊肥料



生育促進

食味向上



NET 15kg

### 成分分析値(%/現物当たり)

窒素	リン酸	加里	苦土	石灰
3.0~4.0	4.0~4.5	3.5~4.0	1.2~1.5	4.5~5.5

### 基本使用量(%/現物当たり)

元肥	果菜類	20~40袋(300~600kg)
	葉菜・根菜類	10~30袋(150~450kg)
豆類	5~15袋(75~225kg)	
花卉類	10~20袋(150~300kg)	
果樹類	15~30袋(225~450kg)	
稻作	3~6袋(45~90kg)	

## 有機入り配合肥料

### バランスパワー



(写真は東北仕様です)

NET  
20kg

### 保証成分量(%/東北仕様)

窒素全量	内可溶性窒素	リン酸全量	内可溶性リン酸	内水溶性リン酸	加里全量	内水溶性加里
10.5	1.0	6.0	3.5	3.0	5.0	4.0

※東北、北海道限定販売商品です。地域に合わせた仕様のため地域によって成分が異なります。詳細は弊社までお問合せ下さい。

発酵有機肥料入り  
配合肥料(粒状)  
※指定配合肥料



生育促進 省力化

### 効果

ボカリシ肥(67%)・化学肥料を配合し、それぞれの利点や効果を活かした肥料です。窒素、リン酸、加里がバランスよく配合されているため、施肥作業が省力化できます。元肥、追肥問わずご使用いただけます。

## こんなとき…



の樹(草)勢低下は  
有機原料100%の液肥である  
アミビタ類が有効です！！

## アミノ酸液肥

### アミビタゴールドver5

有機原料100%  
アミノ酸液肥  
※肥料登録  
宮城県第614号



生育促進

食味向上



NET 20kg

※流動性が良いので点滴カン水  
にも使用できます

### 保証成分量(%)

窒素全量
6.0

カン水:半~1箱(10~20kg)/回  
カン注:1~2箱(20~40kg)/回  
※水稻では穗肥時に1/4~1箱  
(5~20kg)を流水施肥します。

### 新アミビタ1号

有機原料100%  
アミノ酸液肥  
※肥料登録  
長崎県第596号



生育促進

食味向上



NET 20kg

### 保証成分量(%)

窒素全量
6.0

アミビタゴールドver5と同様です。

アミビタゴールドver5と同様です。

# 発根促進資材

## キトシンキ



NET 3ℓ

発根促進、葉面保護、活着促進  
資材(高濃度キトサン液)  
1ケース(3ℓ×6本)

活着促進 土壌病害軽減 害虫忌避

**効果**

- 有効微生物群(特に放線菌)の増殖を促進させ、悪玉菌の繁殖を抑制します。
- 植物内部の免疫力を高め、耐病性と抵抗性を強化し、外敵から植物を守ります。
- 土中では、キトサンオリゴ糖となり、選択的に有効微生物の繁殖を促進させます。
- 葉面施用では、葉面に保護膜を作り、外敵の侵入を防ぐ働きがあります。

**使用方法****活着の促進**

100~200倍液に苗ポットを浸してから定植して下さい。

**有効菌の増殖及び発根促進**

500~1,000倍液をカン水します。(約20日おき)

**土壤病害が発生した時**<軽度> 400~700倍液をカン水します。  
(7~10日おきに2~4回)<中度> 200~400倍液をカン水します。  
(5~7日おきに2~4回)<重度> 100~200倍液をカン水します。  
(障害株周辺に3~5日おきに2~4回)**葉面保護**

300~600倍液を3~10日おきに2~4回葉面散布します。

※キトサンとは カニ殻から抽出したキチン質により精製されたものです。キトサンには、植物を活性化させる力があり、生長促進効果があります。また、作物の自己防衛機能を高めるので、耐病性が強化されます。

## 育苗資材

### 苗上手アクセル



NET 5.0kg NET 600g

生育促進資材  
1ケース(600g×30本)  
1ケース(5.0kg×4本)  
※肥料登録:生第106175号

生育促進 葉色向上 低温対策

**効果**

生長促進・葉色向上液肥です。苗上手ブレーキとの併用で、生育調整が可能です。苗の生育の遅れを解消し、葉に厚みが出ます。

**使用方法****水稻苗**

葉齡1葉期から生育に応じて200倍液を苗箱1枚当たり300~500mlの量で1~2回カン水します

**野菜苗**

本葉1葉期から生育に応じて400倍液をカン水します。

**保証成分量(%)**

窒素	リン酸	カリ	苦土
8.0	3.0	3.5	1.0

### サンレッド



NET 300ml

冷水田、低温障害、ガス害対策資材  
(高密度タイプ光合成細菌)

1ケース(300ml×12本)

ガス害対策

低温対策

土壤病害軽減

**効果**

ガス害の予防、根腐れの改善、葉色(光沢)の向上、活力活性、発根力の強化、土中バクテリアの活性、光合成の促進などの効果があります。

**使用方法(10aあたり)**

稻:ガス害予防・冷水田対策

1/3本(100ml)~2/3本(200ml)を流水施肥します。また、1/3本とPフォスター半袋(500g)を250lの水に溶かして、3~5日おきに全面散布します。

畑:根腐れ対策・発根促進

1/3本(100ml)~1本(300ml)を20~30日おきにカン水またはカン注します。

### バイオ根助



NET 20ℓ

発根促進・有効菌繁殖促進資材  
(高純度木酢液)

発根促進 活着促進 土壌病害軽減

**効果**

高純度の木酢液で、有効菌(善玉菌)の活性を促進させ、発根障害を改善する効果があります。

**使用方法****発根障害の防止**

500~1,000倍液を散水、またはカン水に使用します。

**発根障害発生時**

20~50倍液を株元散水します。

### 苗上手ブレーキ

### 苗上手ブレーキ



NET 5.0kg NET 600g

徒長防止資材  
1ケース(600g×30本)  
1ケース(5.0kg×4本)  
※肥料登録:生第106176号



発根促進 徒長防止 高温対策

**効果**

徒長防止、発根促進液肥です。  
苗上手アクセルとの併用で生育調整が可能で、リン酸、有機酸の効果で徒長を防止して、太く丈夫な苗に仕上げます。また、速効的な効果がありますので、急激な天候不良による苗の徒長対策にも有効です。

**使用方法**

苗上手アクセルと同様です。(左記参照)

成分の性質上、沈殿物が発生することがあります。ご使用になる前によく振ってから施肥して下さい。

# 葉面散布材

## Pフォスター



NET 1kg

リン酸と苦土  
の  
相乗効果!!リン酸・苦土補給  
着果・結実・糖度・着色促進  
1ケース(1kg×20袋)

徒長防止 同化促進 食味向上

**●効果**

窒素過多の解消(ブレーキ役)・着果(着花)促進・着色促進・糖度向上・軟弱徒長の改善、日照不足対策に効果があります。葉面や茎からのリン酸の吸収率が高い資材です。

**●使用方法****●育苗時**

徒長防止と根量増加に800~1,000倍液を2~3回葉面散布します。

**●生長時**

500~700倍液を2~3日おきに2~3回葉面散布します。

## リーフアップN



NET 1kg

生育促進・肥大促進・樹勢回復  
1ケース(1kg×20袋)  
※肥料登録:生第105168号

生育促進 樹勢回復 肥大促進

**●効果**

生育促進(アクセル役)・初期生育の促進・実の肥大促進・生り疲れ対策・樹勢維持等に効果があります。

**●使用方法****●育苗時**

生育促進のために500~1,000倍液を2~3回葉面散布します。

**●定植時**

500~800倍液を3~5日おきに、2~3回葉面散布します。

**●生長時**

500~800倍液を3~5日おきに、2~3回葉面散布します。

窒素	リン酸	カリ	苦土	マンガン	ホウ素
15.0	3.0	2.0	2.0	0.5	0.2

## リーフアップCa



NET 1kg

石灰・苦土補給  
1ケース(1kg×20袋)

尻腐れ対策 芯腐れ対策

## ふち腐れ対策

**●効果**

石灰欠乏による障害の予防に効果があります。苦土欠乏にも有効です。

**●使用方法****●石灰・苦土欠乏**

400~500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

**●尻腐れ・芯腐れ・ふち腐れ対策**

500~600倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

**●着色・糖度向上促進**

300~600倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

成分	設計値(%)	水溶性 石灰	水溶性 苦土
		10.0	10.0

## リーフLA



NET 3kg

葉面散布用アミノ酸液肥  
1ケース(3kg×6本)

※指定配合肥料 岐阜県届出



生育促進 樹勢回復 旨味向上

**●効果**

アミノ酸が入った低臭タイプの葉面散布材です。  
葉肉を厚く、色づやを良くします。  
実の肥大促進、光合成の促進、樹勢強化、なり疲れ、栄養失調防止と回復に効果があります。

**●使用方法****●樹勢低下・生り疲れ防止**

500~800倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

**●育苗時の追肥・定植時のドブ漬け**

800~1000倍液をカン水します。

## リーフSG

NET  
200g×5袋多糖類配合活性材  
(ブルランテレハロース)  
1ケース(200g×5袋×20セット)

蒸散防止 霜害対策 葉面保護

**●効果**

葉面を保護し、乾燥、凍結、萎れ対策に役立ちます。また、展着材としての効果もあります。

**●使用方法****●葉面の保護**

1000倍液を葉の裏面を中心に噴霧します。状況を見ながら連日、または3~5日おきに連用します。

**●乾燥・凍結・霜の対策**

茎部切断面を1000倍液に12~24時間浸して下さい。

**●乾燥・凍結・霜の対策**

1000倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

# 耐病性強化資材

## リーフアップ M+(エムタス)

微量要素葉面散布材  
※1ケース{(20g×10袋)×20セット}  
※肥料登録:生第106226号

微量要素欠乏予防 生育促進



NET  
20g×10袋

### ●効果

不足しがちな微量要素を葉面から速効的に吸収させて生体内酵素を活性化します。

### ●施肥方法

ミズホの葉面散布と一緒に2000倍液以上に薄めて葉面散布します。

### ●保証成分量(%)

水溶性 苦土	水溶性 ホウ素	水溶性 マンガン	実測値 鉄	銅	亜鉛	モリブデン
10.0	10.0	2.0	0.22	0.21	0.21	0.10

## リーフアップ V3

耐病性強化資材

※1ケース(5ℓ×4本)

カビ対策 土壌病害対策 発根促進



NET 5ℓ

### ●効果

キトサン・精製木酢液・有機酸を主成分とし、軟弱徒長や過繁茂などで耐病性が低下した作物を強化させます。

### ●施肥方法

#### ●健康促進

300~500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

#### ●土壌病害対策

100~200倍液を1株当たり1~2ℓ株元カン水します。

## リーフアップ V2

害虫食害軽減資材

※1ケース(5ℓ×4本)

害虫忌避



NET 5ℓ

### ●効果

害虫が嫌がる数種類の植物エキスと天然石けんを配合した食害軽減資材です。

### ●使用方法

#### ●病気予防

300~500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

#### ●害虫発生時

100~200倍液を1~2日おきに2~3回葉面散布します。

## 葉面散布材混合可否早見表

500倍液希釈の場合  
(リーフアップM+は2000倍液)

混合時はそれぞれの資材を希釈してから混合して下さい

	リーフアップN	Pフォスタ	リーフLA	リーフアップCa	リーフアップM+	リーフアップバリア	リーフアップV2	リーフアップV3	キトシンキ
リーフアップN	—	○	○	○	○	○	○	○	○
Pフォスタ	○	—	○	○	○	○	○	○	○
リーフLA	○	○	—	○	○	○	○	○	○
リーフアップCa	○	○	○	—	○	○	○	○	○
リーフアップM+	○	○	○	○	—	○	○	○	○
リーフアップバリア	○	○	○	○	○	—	○	○	○
リーフアップV2	○	○	○	○	○	○	—	×	○
リーフアップV3	○	○	○	○	○	○	—	—	○
キトシンキ	○	○	○	○	○	○	○	○	—

## 希釈倍率表 水100ℓ当たりに溶かす資材の必要量

	1000倍液	800倍液	500倍液	300倍液	200倍液	100倍液
資材必要量	100g(mℓ)	125g(mℓ)	200g(mℓ)	333g(mℓ)	500g(mℓ)	1000g(mℓ)

### 注意

※日中や高温時など、すぐに散布材が蒸発する恐れのある場合は散布を避けて下さい。

※葉や果実に障害が発生しやすい作物は、あらかじめ小面積でテスト散布し、葉や果実に変色等の障害が発生しないことを確認してからご使用下さい。



# Mリンシステムのポイント

用途に合わせた有用微生物群を活用し、  
土壤環境と生育を安定させます

有効微生物と堆肥による土作りと、ボカシ肥による安定した肥効を活用し、生育を強めるアクセルの役割を担います。また、土壤病害やガス害の解消にも有効微生物を活用します。

状況に応じた葉面散布と補助資材で生育を速効的に調整します

生育促進・抑制、生育充実、病虫害対策の4つを担う葉面散布と、根圏を活性化させる補助材で、生育の援助を行います。

効くリン酸で、適期にリン酸を吸収させて生育バランスを整えます

## 微生物活用

## 生育アシスト

## リン酸活用

リン酸を適期に効かせる技術で、十分にリン酸を効かせて生育を抑制し、生殖生長へ向かわせるブレーキの役割を担います。

適期にリン酸を効かせることで耐病性の強化及び食味向上の効果があります。

高品質で多収穫

## 肥料の特性

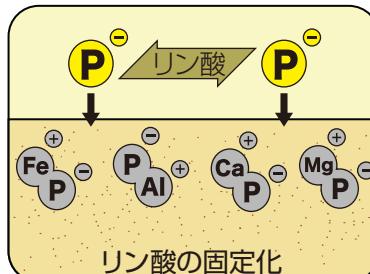
### 三大要素のそれぞれの働き

N  
(窒素)  
茎・葉を作る  
実の肥大  
促進

P  
(リン酸)  
光合成促進、糖度向上  
着果促進、発根促進  
耐病性強化

K  
(カリ)  
養分運搬  
組織合成  
浸透圧維持

### リン酸が効かない原因は

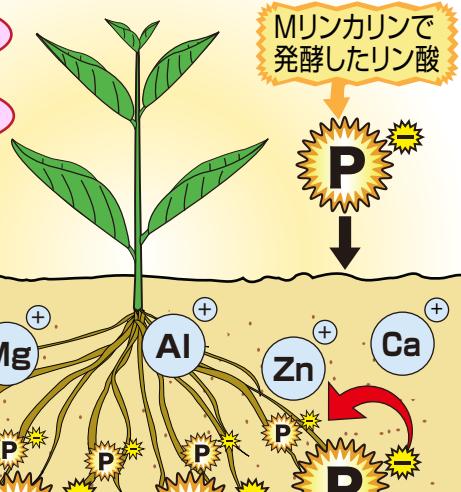


肥料分は水に溶けて作物の根から吸収されますが、リン酸(一イオン)は土中の金属イオン(アルミニウム・マグネシウム・カルシウム等の+イオン)と結合して、水に溶けにくくなります。このようにリン酸と金属イオンが結合することを『リン酸の固定化』といい、これによって作物は吸収できなくなってしまいます。

## Mリンカリンでリン酸の吸収量がUP!

### 吸収しやすいリン酸

バランス良  
健 康

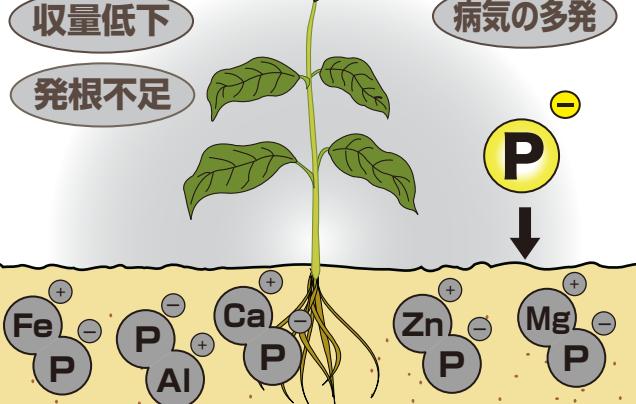


\*イラストは吸収しやすいリン酸のイメージ図です

### 吸収できないリン酸

収量低下  
発根不足

病気の多発



リン酸は、土の表層付近で金属イオンと結合し固定化するため、リン酸を吸収することができる根の先端部(表層より深い部分)まで浸透することができません。

# 作物別施肥基準

## 水稻

10a当たり

### 元肥

	暖 地	寒冷地	極寒地
MリンPK	20~30kg	20kg	20kg
硫 安	0~15kg	10~20kg	20~40kg

硫安の代わりに有機の窒素分として、バクヤーゼK 3~6袋(45~90kg)でも代用可

### 追肥



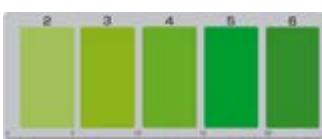
稻の状態を見ながら追肥して下さい

#### ミズホ葉色板(ミリ単位目盛り付き)

※葉色の目安を測定するときは

#### ミズホ葉色板

をご利用下さい



ご購入は弊社までお問合せ下さい。  
(お問合せ先は裏表紙参照)

#### ①調節肥(出穂45~30日前)

生育状況	大きくなれない	葉が45度に立ち元気モリモリ!	窒素过多で葉が垂れて色が濃い
	肥料切れ	標準	過繁茂
葉色の目安	コシヒカリ等 3.5~4.0	4.0~4.5	5.0以上
	多収米等コシヒカリ以外 4.0~4.5	4.5~5.0	5.5以上
施肥量	MリンPK 10~20kg	MリンPK 0~20kg	MリンPK 20~30kg
	硫安 3~6kg	硫安 0~5kg	—

#### ②穗肥(出穂25~18日前)

暖地	MリンPK 20kg 尿素 4~6kg
寒冷地	MリンPK 20kg 硫安 8~12kg

#### ③第2穗肥(第1穗肥から5~10日後)

暖地	MリンPK 20kg 尿素 4~6kg
寒冷地	MリンPK 20kg 硫安 5~8kg

★コシヒカリは、幼穂が10mm前後の時、  
その他の品種は2~3mmの時に第1穗肥を施肥して下さい。

## 流水施肥

MリンPK・アミビタ類・  
硫安・尿素等が使用できます



①田全体に深さが1cm前後になるように水を張ります。



②水を流し込みながらMリンPKを水口から投入します。

※硫安などを同時期に投入する場合は、最初にMリンPKを投入して下さい



③肥料投入後も水を流し込み続け、水深が10~15cmになったら止水します。

※止水が早いと肥料ムラの原因になります

## 水管理

食味・収量・倒伏の有無、イモチ病の発生を大きく左右します

①田植え20~30日後に落水。田の全体が軽くひび割れるまで田を干し、根に有害なガスを放出すると共に、土に酸素を補給します。

②その後は間断カン水を行い、根圏に酸素を供給し、発根性を高めます。

※サンレッド100~200mlを流水施肥すると、根腐れや根痛みを軽減します。粘質田や湿田などのガスが発生しやすい田や、水管理の難しい田では大変有効です。



Mリン栽培  
倒伏の危険無し



慣行栽培  
過繁茂で倒伏の危険大

# 果菜類

★「アミビタA液肥」はP12下段参照

10a当たり

## ナス、キュウリ ピーマン、オクラ など

### 元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK	30~40kg
MB有機シリーズ	400~500kg
尿素	20~30kg
硫酸マグネシウム	0~20kg



## トマト、イチゴ

### 元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK	30~40kg
MB有機シリーズ	200~300kg
尿素	0~10kg
硫酸マグネシウム	0~20kg



## スイカ、メロン ウリ、カボチャ など

### 元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK	20~40kg
MB有機シリーズ	150~250kg
硫酸マグネシウム	0~20kg



※寒冷地の元肥

MリンPK	20~30kg
MB有機シリーズ	300~350kg

### 追肥 1回当たり

■ カン水施肥	アミビタゴールド <sup>ver5</sup>	20~30kg
	(または★アミビタA液肥)	10~30l

※収穫初め頃より7~10日おき  
収穫最盛期3~7日おき

MリンPK液肥の素 2~3kg

■ 置肥 (1ヶ月おき)	MリンPK	30~40kg
	MB有機シリーズ	60~75kg
	硫酸マグネシウム	10~20kg

■ カン注施肥 (20日おき)	アミビタゴールド <sup>ver5</sup>	20~40kg
	(または★アミビタA液肥)	10~40l

※500lの水に薄めて使用します。

### 追肥 1回当たり

■ カン水施肥 (3~10日おき)	アミビタゴールド <sup>ver5</sup>	2~4kg
	(または★アミビタA液肥)	10~20l

MリンPK液肥の素 2~4kg

■ カン注施肥 (20~30日おき)	アミビタゴールド <sup>ver5</sup>	20~30kg
	(または★アミビタA液肥)	10~20l

MリンPK液肥の素 2~4kg

### 追肥 1回当たり



開花5~10日前

#### 着果促進

Pフォスタ500倍液を  
2~3日おきに  
2~3回葉面散布します。



肥大期  
メロン:ピンポン玉大  
スイカ:卵大  
カボチャ:卵大

#### 肥大促進

アミビタゴールド<sup>ver5</sup> 20~30kg  
(または★アミビタA液肥) 10~30l

MリンPK液肥の素 2~3kg



収穫15~20日前

#### 糖度向上

MリンPK液肥の素 3~4kg  
Pフォスタ 500倍液を  
2~3日おきに  
2~3回葉面散布します。

### ウリ類など

■ カン注施肥 (20日おき)	アミビタゴールド <sup>ver5</sup>	30~40kg
	(または★アミビタA液肥)	15~40l

MリンPK液肥の素 3~4kg

※500lの水に薄めて使用します。

# 根菜類

10a当たり

## ジャガイモ

### 元肥



定植15日以上前に施肥
MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 100~150kg
尿素 15~20kg

### 追肥 1回当たり

■ 土寄せ前
※肥料切れの早い硫安が良い

MリンPK 20~30kg
硫安 10~20kg

### ■ 開花時、収穫1ヶ月前頃より

Pフォスター 500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

## ダイコン、カブ、ニンジン

### 元肥



定植30日以上前に施肥
MリンPK 20~30kg
MB有機シリーズ 100~300kg
尿素 0~10kg

硫酸マグネシウム
0~20kg

### 追肥 1回当たり

### ■ 最後の間引き頃

MリンPK 10~20kg
硫安 0~20kg

### ■ 収穫1ヶ月前頃より

Pフォスター 500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

## サトイモ、ナガイモ、ゴボウ

### 元肥



定植30日以上前に施肥
MリンPK 20~40kg
MB有機シリーズ 100~150kg
尿素 20~30kg

硫酸マグネシウム
0~20kg

### 追肥

### ■ 追肥は土寄せを兼ねて2~3回行います

MリンPK 10~20kg
硫安 0~20kg

### ■ 収穫1ヶ月前頃より

Pフォスター 500倍液を3~5日おきに2~3回葉面散布します。

## サツマイモ

### 元肥



定植30日以上前に施肥
MリンPK 30~40kg
MB有機シリーズ 70~90kg
尿素 5~10kg

硫酸マグネシウム
0~20kg

### 追肥

### ■ 収穫1ヶ月前頃より



MリンPK 20~40kg

## アミビタA液肥(アクセル役)の作り方

### 材料

アミビタゴールドver5 20kg	全て混ぜ 合わせて 2~3日以上 熟成させる
サンレッド 300ml	
尿素 10~20kg	
水 100ℓ	

※トマト・イチゴ・メロン・スイカ等では、  
尿素を0~10kgにする

### 使用方法

#### <カン水施肥>

10~20ℓ (5~10日おき)

#### <カン注施肥>

30~40ℓ (20~30日おき)

## 注意点

ボカリ肥は早く土壤になじませておかないと、害虫が寄り付いたり、根菜類においては変形する場合があります。

MB有機シリーズは作付けの1ヶ月前に施肥しておくのがおすすめです。



※MB有機シリーズとは  
MB動物有機ペレット、新ぼかし大将、  
バクヤーゼKを指します。

# 豆類

10a当たり

## サヤエンドウ、インゲン

### 元肥

定植20日以上前に施肥

MリンPK	20~30kg
MB有機シリーズ	100~250kg
尿素	5~20kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

1回当たり

■開花後、サヤが付き始める頃より7~15日おきに施肥します

MリンPK	20kg
★アミビタA液肥	20ℓ
硫安	10~20kg

## ダイズ、エダマメ、ソラマメ

### 元肥

定植20日以上前に施肥

MリンPK	20~30kg
MB有機シリーズ	100~120kg
尿素	5~10kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

1回当たり

### ■土寄せ時

MリンPK	10~20kg
※生育不良の場合 硫安	5~10kg

### ■開花時

MリンPK	10~20kg
アミビタA液肥	10~20kg

### ■収穫前

MリンPK	10~20kg
アミビタA液肥	10~20kg

# 葉莖類

10a当たり

## アスパラガス

### 元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK	20~40kg
MB有機シリーズ	300~500kg
尿素	20~30kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

定植2年目  
以降

■収穫前に1回、収穫後または立莖後  
1ヶ月おきに2~3回施肥します。

MリンPK	20~30kg
硫安	20~30kg

※草勢が弱いときはアミビタA液肥を多め、尿素5~10kgを追肥する。  
草勢が強いときはMリンPKを多め、アミビタA液肥を少なめに施肥する。

## ニンニク

### 元肥

定植15日以上前に施肥

MリンPK	30~40kg
MB有機シリーズ	300~500kg
尿素	0~30kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

### ■春先(3~5月頃)

MリンPK	20~30kg
硫安	20~40kg

### ■収穫1~2ヶ月前

Pフォスタ 500倍液 または  
リーフアップN 500倍液 を 2~3日おきに葉面散布

※多雨の時は追肥で MリンPK 20~30kg

※乾燥の時はカソ水で  
アミビタゴールドver5 500倍液



MリンPK類は、雨が降る前にも追肥すると、  
軟弱徒長や裂果を軽減することができます。

# 葉菜類

10a当たり

## ハクサイ、キャベツ ブロッコリー、レタス

### 元肥

定植10日以上前に施肥	
MリンPK	20~30kg
MB有機シリーズ	200~300kg
尿素	20~40kg
硫酸マグネシウム	0~20kg



### 追肥

1回当たり

#### ハクサイ キャベツ レタス

MリンPK  
硫安

20kg  
10~30kg

- 定植15日後と結球開始期
- 肥料切れになると生育は回復しにくいので、早めに追肥します

#### ブロッコリー

- 活着直後と花蕾が見え始めた頃
- 側枝の花蕾を収穫する場合、頂花蕾収穫後にも追肥します

## ホウレンソウ、コマツナ

### 元肥

定植10日以上前に施肥	
MリンPK	20~40kg
MB有機シリーズ	150~200kg
尿素	10~20kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

1回当たり

#### ホウレンソウ

- 生育状況を見て追肥(1~2回)

Pフォスター  
または  
リーフアップN  
を葉面散布  
500倍液

## タマネギ

### 元肥

定植10日以上前に施肥	
MリンPK	20~40kg
MB有機シリーズ	150~200kg
尿素	10~20kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

1回当たり

- 肥大初期

MリンPK  
硫安

20~30kg  
20~30kg

- 肥大後期(倒伏前)

MリンPK

20~30kg

## ネギ、ニラ

### 元肥

定植10日以上前に施肥	
MリンPK	20~30kg
MB有機シリーズ	200~300kg
尿素	10~20kg
硫酸マグネシウム	0~20kg



### 追肥

1回当たり

#### ネギ

追肥は土寄せを兼ねて行います(2~3回)  
MリンPK  
尿素

20kg  
10~20kg

#### ニラ

収穫後に追肥します

MリンPK  
硫安

20~30kg  
10~20kg

- 葉色向上

リーフアップN

500~600倍液

- 軟弱生育時

Pフォスター

500~600倍液

※2~3日おきに葉面散布し、効果が見えるまで連用する

# 花卉類

10a当たり

## 花卉類全般

### 元肥

MリンPK	30~40kg
MB有機シリーズ	100~200kg
尿素	10~20kg
硫酸マグネシウム	0~20kg

### 追肥

1回当たり

- 生育調整

MリンPK液肥の素  
アミビタ類

2~3kg  
20~30kg

- 軟弱徒長対策

Pフォスター

500倍液